

オオギセル

Megalophaedusa martensi (Martens)
異鰓目・キセルガイ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

福井県では奥越・丹生山地と分布域が限られている。また、森林開発で個体群サイズが小さくなり、特に丹生山地の分布は局所的で危機状態となっている。

分 布

関東から中国地方の本州、四国に分布する。県内では奥越山地、丹生山地等限られた場所で確認されている。

種の特徴

殻高 36～48 mm、殻径 8.5～10.5 mm、螺層 10～11 層の日本での最大キセルガイ。淡黄褐色から赤褐色で細長く左巻きの貝。山地の森林の落葉の下等に生息する。

生息を脅かす要因

森林の開発による生息環境の改変、さらに愛好家による採集圧も個体数減少の要因となっている。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会編（1998）、環境省編（2014）、福井県編（2002）、湊（1994）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○	○	○	○						○	○	

オオコウラナメクジ

Nipponarion carinatus Yamaguchi & Habe
異鰓目・オオコウラナメクジ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

落葉広葉樹林帯の湿潤な落葉下に局所的に生息し、個体数が減少している。

分 布

本州、四国、九州に分布する。県内では、奥越地方や嶺北地方南部、敦賀市等に分布する。

種の特徴

体長 35 mm、体幅 10 mm、体高 9 mm 程度。軟体は褐色で淡い褐色斑点がある。体の前方、頭部、触角は黒くて光沢がある。落葉広葉樹林帯の落葉下に局所的に生息する。

生息を脅かす要因

樹木の伐採等による森林の減少や林床の乾燥化等が要因である。シカ食害による植生破壊の影響が懸念される生息地がある。

参考文献 福井県編（2002）、環境省編（2014）、福井県自然環境保全調査研究会編（1985）、東（1995）、湊（1987b）、湊（1973a）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○		○	○				○		○	○	

コガネマイマイ

Euhadra sandai sandai (Kobelt)
異鰓目・オナジマイマイ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

夏緑広葉樹林帯環境に生息するが生息地が縮小し、生息条件も悪化している。近年敦賀市の生息地ではマニアにより絶滅した。

分 布

北陸から近畿北部に分布する。本県内では平野部のナミマイマイとはすみわけ、海岸地帯から山地帯までの広範囲に局所的に分布する。

種の特徴

殻高約 21 mm、殻径約 41 mm、巻数約 6 回、大型で螺塔が著しく低く扁平。殻皮に黒褐色の色帯を持ち、成長脈に添って鮮黄色の火炎彩模様が著しくあらわれ虎模様となる。臍孔は広く緩やかで浅い。軟体部は黒灰色で背面上に黒縦帯がある。樹上性。卵生。

生息を脅かす要因

都市化の影響を受けて山麓帯の生息地は激減した。宅地造成や林道開発等による自然度の高い落葉広葉樹林の減少。マニアの収集圧が本種の生息を脅かす主な要因である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会編（1998）、福井県（2002）、川名（2007）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○	○	○	○			○			○	○	

陸産貝類